

広報



## ごじょうめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 総務課 電話(018876) 代 2100番  
 印刷所 湖東印刷所 電話(018876) 2430番 (一部 五円)  
 郵便番号 018-17 毎月 1日・15日発行

## &lt;ミニ知識&gt; 年々荒される過密日本

環境省が危機から初めての公害白書が発表されたのが5月26日であったが、その中で、光化学スモッグやP.C.Bなど毎年のようになると続出する公害は、予防対策の遅れによると指摘。これまでの規制中心主義を改めグローバルな環境対策をたてる必要性を説いている。

公害による社会的費用の約半分を試算したのも特色のひとつで、たとえば1960年に2千6百億円だったのが、70年には約1兆5千3百4拾3億円(国民一人あたりにして約1万5千円)に激増した。工業国日本の国土の荒れようがわからうというもの。



ガリツノ少しばかり砂も入った野菜の油いためテモおいかづか

7月26日から小、中学生たちの夏休みが始まった。この休みにはいるすぐ前の17日、18日に世の親達にとってシヨッキングな事件があった。それは浜松市でおきた子どもの水難事故である。川へ水鉄砲を拾いにはいった小学2年生の男の子が、おぼれて行方不明になつたが、いつしょにいた同級生3人「こわいから」と互いに口止めしあい、家族に知らせなかつたもので、翌日千葉県成田市でも同じような事件があった。

戦前、戦中派の人達が子どもだった頃は、泳げないのを忘れて友だちのために飛びこんだり、大声を出して附近に助けを求めていたり、そのためせいといばる努力をする事が当然の考え方であり、行動であった。現代の子どもをとりまく環境の激しい変化と生活する空間をせまくしていることが、このような考え方を育てるのか、原因はさだかでないが無気力、無関心、無感動、いわゆる三無主義におち入り易い子どもの多い事は、いろいろな専門家

## 夏休みに連帯感の体得を

家からも指摘されている。こうした背景の中にいる子どもたちを自然に見しませ、連帯感ある社会性を体得させるため、夏休みは絶好の機会ではないだろうか。

その方法としては、子ども同志がはだかで接し合える時間を作つてやることである。林間学校、海洋教室、キャンプ、親せき留学旅行、何れも社会にはいろいろな考え方の人があり、いろいろな立場の人が社会を支えていること、そして人を助ける事も、人から助けられる事もあるということを肌で感じてもらいたいのだ。

幸いにして、畠中PTAの役員はこの点を重視し、7月22~3日馬川分館を中心に行なった「キャンプ生活を試みた」歌あり、寸劇あり、健康な笑いの満喫があった。自分達の炊いた「めし」は「おかず」は誠に素食であったが、ジリジリと照りつける太陽のもとでもこの上ない料理になった。このような健康的な輪が幾重にも幾重にも町内に波及することを乞い願う。子どもたちのために。

戦前、戦中派の人達が子どもだった頃は、泳げないのを忘れて友だちのために飛びこんだり、大声を出して附近に助けを求めていたり、そのためせいといばる努力をする事が当然の考え方であり、行動であった。現代の子どもをとりまく環境の激しい変化と生活する空間をせまくしていることが、このような考え方を育てるのか、原因はさだかでないが無気力、無関心、無感動、いわゆる三無主義におち入り易い子どもの多い事は、いろいろな専門家

が持っているが、大多数の人はまずは経済観念が先行して、自分の命と体力、自分の命を考える要因があると思う。

健康で美しくありたいことは誰も

が考えられる。しかし現代は足のない車用族、人手のないコンピューター時代、口があつて生きのびることが如何にむづかしい

えた来たが、化学方能の進歩はブレーキの無い暴走車の如く、その中で生きのびることが如何にむづかしい

代から、社会は少しづづ冷靜、反省時代への移行のき

代から、人間復活への道 体育指導委員長 宮川庄太郎



広報  
サロ







